

【注意事項】

R20TS0287JJ0100

Rev.1.00

2018.04.01 号

RX ファミリ 組み込み用 TCP/IP M3S-T4-Tiny

概要

RX ファミリ 組み込み用 TCP/IP M3S-T4-Tiny の使用上の注意事項を連絡します。

1. UDP 送信完了時のコールバック関数呼び出しに関する注意事項

1. UDP 送信完了時のコールバック関数呼び出しに関する注意事項

1.1 該当製品

- RX ファミリ 組み込み用 TCP/IP M3S-T4-Tiny Firmware Integration Technology V.2.06 ~ V.2.07 (以降、“M3S-T4-Tiny”と略します。)
- RX ファミリ 組み込み用 TCP/IP M3S-T4-Tiny を用いたサンプルプログラム Firmware Integration Technology V.1.06
- RX ファミリ RX Driver Package Ver.1.12 ~ Ver.1.14 (M3S-T4-Tiny は RX Driver Package に含まれます。)

1.2 該当 MCU

RX ファミリ

1.3 内容

UDP 送信完了時の処理に誤りがあり、意図しない領域へのメモリ参照が発生します。

そのため、あらかじめ登録したコールバック関数が呼び出されず、送信完了を検出できない場合があります。

1.4 発生条件

UDP 送信 API `udp_snd_dat()` をノンブロッキングコールで実行した場合に発生します。

1.5 回避策

M3S-T4-Tiny にはライブラリファイルの生成環境 (CS+プロジェクト) とソースコードが同梱されています。ユーザは以下の手順でライブラリファイルを生成し、ユーザプロジェクトに上書きしてご使用ください。

【手順】

フォルダ名およびパス : V.2.07 のもので説明

統合開発環境 : CS+ V6.01.00 を使用の場合

- (1) 「¥an-r20an0051jj0207-rx-t4-connectivity¥FITModules¥r_t4_rx_v2.07.zip」を解凍します。
- (2) 「¥r_t4_rx_v2.07¥r_t4_rx¥make_lib¥make_lib.zip」を解凍します。
- (3) 「¥make_lib¥T4_Library¥cs¥rx_ether¥rx_ether.mtpj」をダブルクリックし、CS+を起動します。

- (4) `udp.c` を開き、`_udp_snd()` の 763 行目付近を以下の通りに修正して下さい。赤文字の部分が修正内容です。

[修正前]

```
fncd = TFN_UDP_SND_DAT;
if (0 == (_ch_info_head[udp_ccep[count].cepatr].ip_terminated_flag))
{
    (*pcep->callback)(i + 1, fncd, (VP)&pureq->snd_ercd);
}
```

[修正後]

```
fncd = TFN_UDP_SND_DAT;
if (0 == (_ch_info_tbl->ip_terminated_flag))
{
    (*pcep->callback)(i + 1, fncd, (VP)&pureq->snd_ercd);
}
```

- (5) ・CS+のメニューバーから [ビルド]->[ビルド・モードの設定]をクリックします。
- ・[ビルド・モードの設定]ウインドウで[ビルド・モードの一覧]で”DefaultBuild”を選択し、「すべてに適用」ボタンを押します。
 - ・「閉じる」ボタンを押し、[ビルド・モードの設定]ウインドウを閉じます。
- (6) ・CS+のプロジェクト・ツリーの `T4_Library_rxv1_ether_little`(サブプロジェクト) -> `CC-RX` をダブルクリックします。
- ・「コンパイル・オプション」タブ -> 「MISRA C ルール検査」 -> 「適用するルール」を”適用ルールなし”に変更します。
- (7) `T4_Library_rxv1_ether_big`(サブプロジェクト)も (6) と同様に変更します。
- (8) ・CS+のメニューバーから [ビルド]->[リビルド]を押し、リビルドを実行します。
- ・リビルドが完了すると、下記が生成されます。
- ```
¥make_lib¥T4_Library¥cs¥rx_ether¥T4_Library_rxv1_ether_little¥DefaultBuild¥T4_Library_rxv1_ether_little.lib
¥make_lib¥T4_Library¥cs¥rx_ether¥T4_Library_rxv1_ether_big¥DefaultBuild¥T4_Library_rxv1_ether_big.lib
```
- (9) (8) のライブラリファイルをユーザプロジェクトの「`T4_Library_rxv1_ether_little.lib`」「`T4_Library_rxv1_ether_big.lib`」に上書きしてください。

## 1.6 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

| Rev. | 発行日        | 改訂内容 |      |
|------|------------|------|------|
|      |            | ページ  | ポイント |
| 1.00 | 2018.04.01 | -    | 新規発行 |
|      |            |      |      |

ルネサスエレクトロニクス株式会社  
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先  
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。